



阪神大震災や新潟県中越地震での救援活動報告を熱心に聞く来場者＝岡山市の岡山国際交流センターで

災害救援取り組み報告

AMDAなどがセミナーで

岡山

県立天大学院の公開講座「第3回災害セミナー」災害時要援護者に対する取り組み」が23日、岡

山市の岡山国際交流センターであり、国内外の災害救援などに取り組んだ経験のある各種団体が報

告を行った。

災害時に適切な行動をとることが困難な高齢者や障害者などの災害時要援護者に対する行政や自主防災組織などの取り組みがテーマで、約80人が熱心に耳を傾けた。

瀬戸内海の島を回る済

生会の巡回医療船「済生丸」が阪神大震災時の、国際医療援助団体「AMDA」（本部・岡山市）が国内外でのさまざまな取り組みを、それぞれ報告。また、04年8月末の台風16号で広範な浸水被

害が出たことから、倉敷市児島唐琴地区の5町内会約800世帯で結成した「唐琴自主防災会」の清板幸一郎会長（64）が、災害時要援護者の住所や状態を記した支援台帳などを作って備えたことなどを紹介した。

清板会長は「台風で逃げ遅れた人がいた経験から、会では要援護者対策をメインに活動している。行政にはできないことを地域でやっていきたい」と話した。

【横山三加子】